

日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会
自然地理学・環境防災教育小委員会（第24期・第3回） 議事録

日時 2018年12月2日（日）13時35分～15時00分

会場 日本学術会議 会議室6-C（2）

出席 春山，近藤，鈴木康弘，宇根，須貝，山縣，鈴木毅彦

欠席 奥村，久保，恩田，日下，小岩，山野，篠田

1. 報告事項

24期・第2回議事録（確定済み）を再確認した。

2. 検討事項

1) 教員研修への講師派遣

約80名の協力者リストを本委員会で作成し提出したこと、教員研修では地理総合の中での自然地理の位置づけについても3割程度触れてもらいたいという要望があったこと、東京地学協会でも講師派遣のしくみがあり、学協会との連携もあり得ることが紹介された。その上で下記について検討した。教員研修の周知には教員免許更新制度を利用することが考えられないか、そのためには更新制度の情報がどのように教員から得られているかの調査が必要である。また各県毎での教員間のつながりがあるはずで、その様な場を利用した教員研修と講師派遣ができるのではとの意見があった。また教員がその様な場に出やすいような仕組みが整備されるべき（現状では教員は忙しすぎる）であり、このような提言もあり得るという意見が出された。

2) 地理学会春季大会のシンポジウム

シンポジウムテーマについて、地理総合・指導要領における懸念事項、問題提起について以下の問題点を検討した。

地理総合研修制度に関する提言、地理総合と地学の違い、地理総合の教育法、例えば、身近な現象・スケールから大スケールの地形などの順番で教えるべきか否か、指導要領にあるGIS・自然地理・災害という順番がカリキュラムの中で適切か否か、について議論した。大学での教育において自然地理分野の教員を確保する必要性についても議論した。

3) その他

教材素材集原稿について

前期委員からは比較的提出されているが、自然地理関係での提出者は4-5名であり充分には集まっていない。委員会からも執筆催促が必要かもしれない。

委員の追加について

木村圭司氏（奈良大学）、山口勝氏（NHK）の名があがり、本人の了解が得られればという条件付きで承認された。

以上